

# 基本目標1 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底

## <がん検診>

### 【平成30年度の主な取組と実績】

#### ① 1. 受診しやすい検診体制

#### (1) 60歳がん検診無料化

がん検診受診状況(H31.1.31時点)					
がん種別	対象者	受診者	60歳受診者	(参考) H29年度受診者	(参考) H29年度60歳受診者
胃がん	26,599人	3,341人	104人	3,200人	64人
肺がん	26,599人	4,010人	141人	3,881人	77人
大腸がん	26,599人	4,499人	146人	4,455人	129人
子宮頸がん	17,609人	3,346人 (妊婦含まず)	99人	3,844人 (妊婦含む)	84人
乳がん	15,911人	3,264人	121人	3,323人	112人
前立腺がん	5,734人	900人	66人	880人	30人

加賀市民の死亡原因と国保医療費はどちらも「がん」が1位となっている。平成30年度は60歳の節目年齢で全てのがん検診の自己負担を無料としたことにより、前年度と比較し、全てのがん検診で増加した。

全体では、胃・肺・大腸・前立腺がん検診においても前年度より受診者数が増加した。

資料: 市がん検診結果  
対象者数は石川県方式により算出  
対象者...胃・肺・大腸・乳: 40歳以上  
子宮頸: 20歳以上、前立腺: 50~74歳

#### (2) 医療機関での胃内視鏡がん検診実施

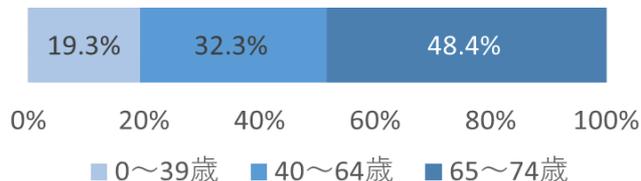
胃内視鏡がん検診の対象者に、医療機関で受診できることを示す目的で受診券を同封した。このことにより、受診者数が前年度より大きく増加した。

【胃内視鏡検査】対象者数(50~68歳の偶数年齢の者): 4,942人 対象者は石川県方式により算出  
受診者: 537人(前年度実績: 165人)  
受診率: 10.9%(前年度実績: 3.3%)  
実施医療機関数: 8医療機関

# 【平成31年度の取組(案)】

## ① 1. 65歳がん検診無料化

国保被保険者数の割合(H29)



国民健康保険被保険者の割合を見ると、65歳以上が約半数を占める。このことから、定年の延長等により、65歳頃から職場検診を受ける機会がなくなる年代であることが考えられる。

ミニドックとして、65歳になる者のがん検診・特定健診を無料にし、受診行動につなげるための対策とする。

## ② 2. 医療機関での大腸がん検診の実施

大腸がん検診を施設検診化し、身近なかかりつけ医で受診しやすい体制とする。

【大腸がん検診の医療機関検診の考えられる目的と効果】

- ①大腸がん検診受診率の向上
- ②精密検査受診率の向上
- ③障がいを持った方でも気軽に受診できる

以上の3点を目的とし、実施する。

## 3. がん検診の周知の強化

例年送付している個別通知について、さらにわかりやすくインパクトのあるレイアウトや内容で作成する。また、健診カレンダーを町内回覧から広報折込にて全戸配布し、より周知の強化に努める。

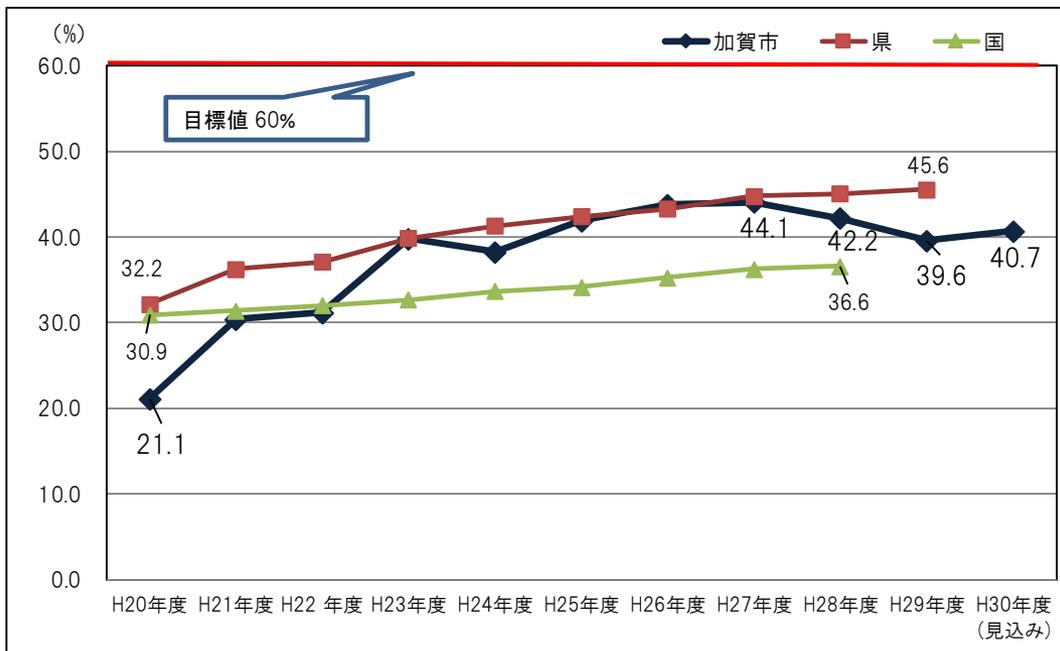
# <特定健診>

## 【平成30年度の主な取組と実績】

### 1. 受診しやすい健診体制

- (1) 自己負担額減額（受診料H29年度：1,000円 H30年度：500円）
- (2) 心電図検査全員実施
- (3) 40歳・65歳自己負担無料継続

### 特定健診受診率の推移

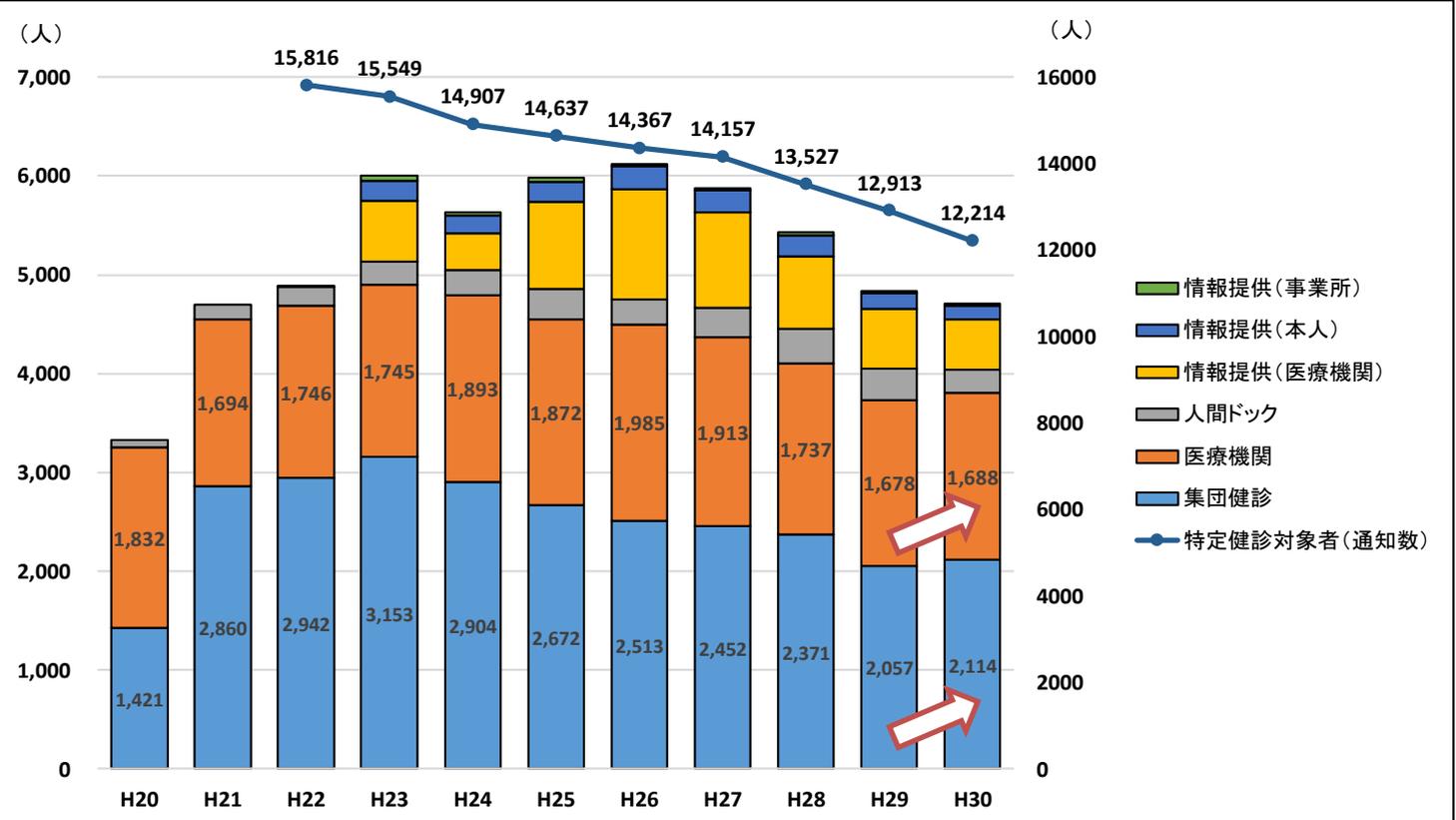


加賀市の特定健診受診率はH20年度から上昇傾向にあったが、H27年度をピークに低下傾向である。県と比べても低い受診率である。

平成30年度は、受診率が上昇する見込みである。

資料：市国保特定健診法定報告

# 加賀市国保被保険者数と特定健診受診者内訳の推移



H30年度はH29年度と比較して、**集団健診と医療機関健診の受診者数が増加している。**

資料: 市国保特定健診保有数

## 40歳、65歳の特定健診受診率

	40歳 H 29 (最終)	40歳 H 30 (H 31.1.31)	40代(40歳を除く) H 30 (H 31.1.31)
対象者	138	106	1,331
受診者	33	27	259
受診率	23.9	25.5	19.5

	65歳 H 29 (最終)	65歳 H 30 (H 31.1.31)	60代(65歳を除く) H 30 (H 31.1.31)
対象者	486	431	5,495
受診者	221	206	1,737
受診率	45.5	47.8	31.6

資料: 市国保特定健診保有数

H30年度は、H29年度(最終)と比較して、**40歳・65歳ともに受診率が向上している。**さらに、40歳代(40歳を除く)・60歳代(65歳を除く)と比較しても受診率が高い。

# 【平成31年度の取組(案)】

## 新 1. 受診しやすい健診の実施と周知の強化

- (1) 各地区における集団健診は、特定健診とがん検診(女性がん含む)を同一日での実施とする。
- (2) 市中央での集団健診は、各イベントと併せた実施とする。  
6月:「歯とお口の健康週間行事」と併せ、市民会館での健診実施。  
11月:「糖尿病予防週間行事」と併せ、アビオシティホールでの健診実施。
- (3) がん対策と同様、例年送付している個別通知について、さらにわかりやすくインパクトのあるレイアウトや内容で作成をしていく。また、健診カレンダーを町内回覧から広報折込にて全戸配布し、より周知の強化に努める。

## 新 2. 健診未受診者の健診受診勧奨の強化

特定健診受診率向上や糖尿病重症化予防等のハイリスク者対策の強化を目的に、業者委託により、健診情報と複雑なレセプト情報(傷病名、検査、医薬品等)を突合し、本来の傷病状況が的確に反映された、多種多様なリストを作成。(特許技術である人工知能で解析)

これにより、保健事業に適さない人を除外し、確実な保健事業の対象者の抽出が可能となるため、業務の効率化とハイリスク者も含めた健診未受診者等訪問活動の充実を図る。

# <歯周疾患検診>

## 【平成30年度の主な取組と実績】

### 【これまでの実施状況からの課題】

- (1) 歯周病検診の回数が少ない
- (2) 検診受診事後フォロー体制(集団検診から歯科医療機関の受診につながりが難しい)
- (3) 検診会場の環境の不備(適切な照明等が整備できない)

## 【平成31年度の取組(案)】

### ① 1. 歯周病検診体制の整備

- (1) 健康寿命を延伸するため、検診体制を強化する。  
(歯周疾患は、脳心血管疾患、高血圧、糖尿病、糖尿病の合併症につながるリスクが高い)
- (2) 40歳代から歯周炎の割合が80%以上となるその手前から歯周病検診を行い、成人・高齢期の健康を維持し、食べる楽しみを享受できるように歯の喪失を予防する。

#### 平成30年度

対 象：19歳以上の加賀市民  
実施方法：集団歯周病検診を  
加賀市歯科医師会へ委託  
実 績：年3回(日曜日)  
76人受診  
自己負担：無料



#### 平成31年度(2019年度)

対 象：30歳以上の加賀市民  
実施方法：個別歯周病検診を  
加賀市歯科医師会へ委託  
自己負担：無料  
※19歳以上の加賀市民を対象とした集団歯周  
病検診は、歯と口の健康習慣行事のみで実施  
予算内容：検診委託料等  
(受診者見込4,132人受診率8%)

# <発症予防>

## 【平成30年度の主な取組と実績】

### 1. メタボ対策(特定保健指導): 食事体験を通じた適量学習(国保被保険者限定)

対象者を拡充(積極的支援対象者に加え動機付け支援対象の追加)したこと及びレストランさくらも会場(会場数1→2)に加わったことで利用者の増加につながった。

利用者: 36名(積極的支援12名、動機付け支援24名)



### 2. 運動施設5回利用券(国保被保険者限定)

実施会場が市内4→3会場となり、申込み者数は前年度より減少したものの、利用者割合は前年度より10.3%増加した。

申込者: 76名

利用者: 53名(うちメタボ該当・予備群者26名)

利用割合: 69.7%(うちメタボ該当・予備群者49.1%)



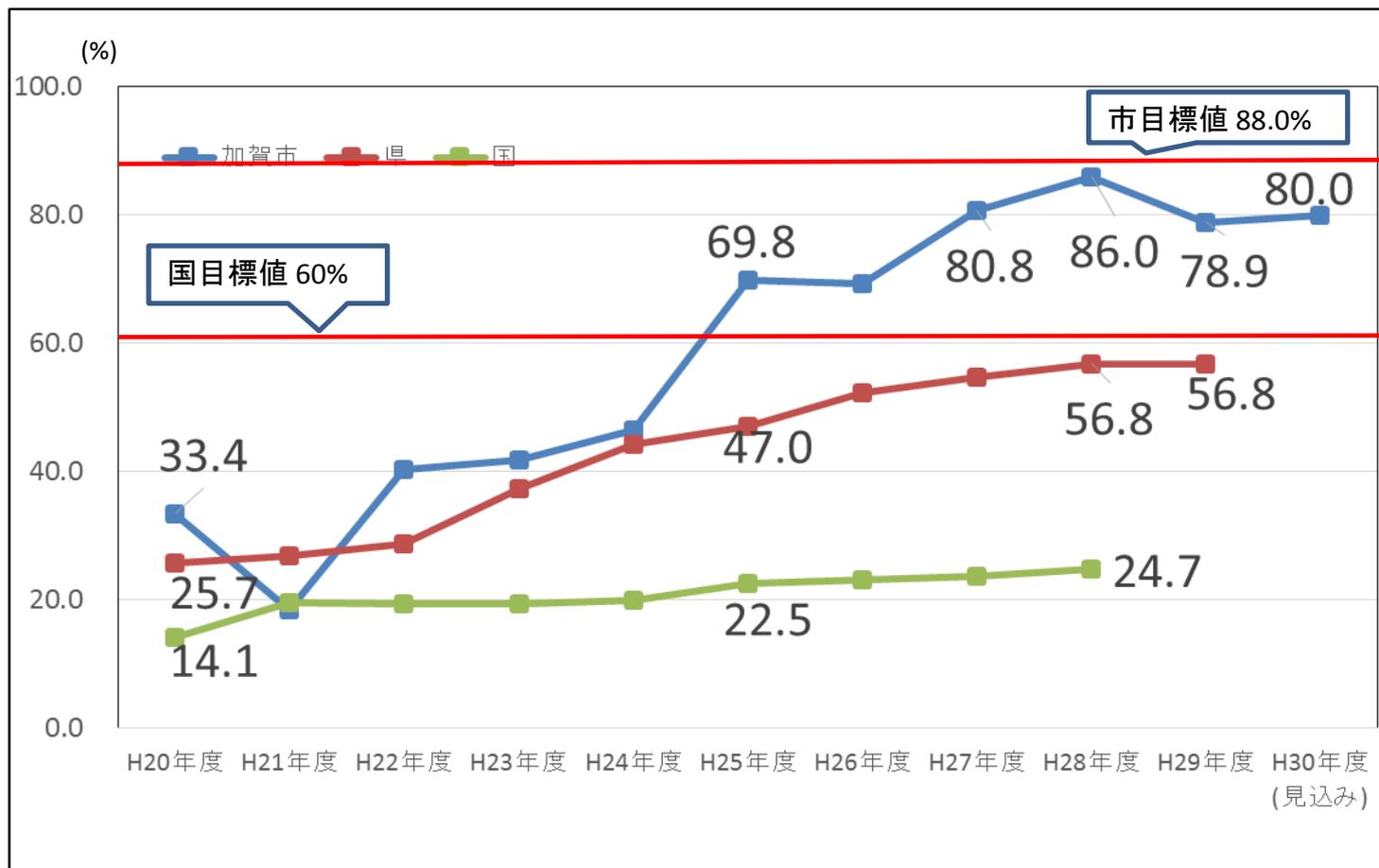
### 3. 特定保健指導実施状況

前年度と比べ健診受診者数の増加に伴い、特定保健指導対象者数も増加している。また、初回面接実施率は1月末現在で73.4%である。

	H30年度 (H31.1 月末)	H29年度 (法定報告)
対象者数	383	369
初回面接者数	281	323
初回面接実施率	73.4%	87.5%

資料: 市国保特定健診保有数

# 特定保健指導実施率の推移



特定保健指導実施率は、平成29年度78.9%と前年度より低下している。今年度は80.0%を見込んでいる。

国の目標値は達成しているものの、市の目標値には未達成である。

資料：市国保特定健診法定報告

# 〈重症化予防〉

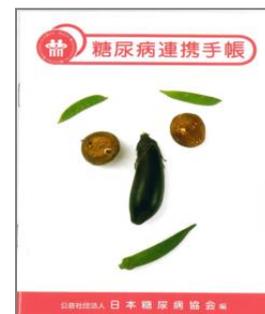
## 【平成30年度の主な取組と実績】

### 1. 受診勧奨(要医療)判定値者における未治療者対策

特定健診受診者のうち、受診勧奨(要医療)判定値者に対し、要医療返書を活用した受診勧奨 要医療返書率 52.3%

### 2. 糖尿病等治療中者重症化予防対策

医療と連携した重症化予防保健指導(糖尿病連携手帳等を活用)  
保健指導実施件数 49件(うち連携手帳活用13件)



### 3. 重症化予防体制構築

加賀市糖尿病協議会との連携(歯科診療との連携)

- ・協議会への参加 2回(・歯科との連携について・協議会活動内容について)
- ・研修及び症例検討会への参加 3回
- ・糖尿病週間行事による啓発

# 〈発症予防・重症化予防〉

## 【平成31年度の取組(案)】

### 1. メタボ対策事業

対象者に特定保健指導を利用してもらう機会を増やし、メタボ改善につながるよう取組みを強化する。

**新** 医療機関での特定保健指導の実施体制の拡大

**拡** 生活習慣改善プログラムの対象者拡大

「食事体験を通じた適量学習」「運動施設5回利用券」

### 2. 糖尿病予防対策推進事業

糖尿病の合併症のひとつである糖尿病性腎症による新規人工透析が増加していることから、国保被保険者等の発症予防・重症化予防の強化及び啓発普及を行う。

#### (1) 啓発普及

**新** ①糖尿病ウォークラリーや11月の糖尿病週間に併せて、糖尿病に関連のある市民活動団体と合同で糖尿病イベントを実施する。

#### (2) 発症予防

**新** ①糖尿病予防相談日の設定(定例月1回開催)

**新** ②糖尿病予備群対策プログラムの実施

(自己血糖測定により血糖変動を確認し、生活習慣改善の保健指導を行う)

#### (3) 重症化予防

**新** ①糖尿病治療中断者等へ医療機関の糖尿病療養指導士による指導支援の実施  
(国保被保険者のみ)

# 基本目標2・3・4 KAGA健食健歩プロジェクト

## <健幸ポイントカードを活用した個人健康づくりの推進>

### 【平成29・30年度の主な取組と実績】

	配布枚数	応募数	応募場所	対象事業	ポイント押印者	協賛事業所	参加者の声及び課題
平成29年度	5,000	334	市役所本庁 山代・山中 片山津支所 かが交流 プラザさくら (5か所)	・特定健診 ・がん検診 ・健幸長寿講座 ・健康に関する事業 ・自己申告	健康課 検診機関  3団体	5か所	・健診受診や健康づくりイベントに参加した ・食や運動の取組みが増えた ・応募場所が少ない ・ポイント事業を知らなかった(周知不足)
平成30年度 (1月末現在)	17,000	650	動橋出張所 橋立出張所 2か所追加 (7か所)	・介護予防事業 ・スポーツ課事業 ・保健推進員地区講座 ・食生活改善推進員講座 ・ラジオ体操ステーション等を追加	・地域包括支援センター ・スポーツ課 ・医療機関 ・地区組織等	6か所 2か所増 1か所減)	・健康づくりの取組みが増えた ・応募締切りの2月末以降の健康づくりの取組みにはポイントが付与されないため、健康づくりの機運が下る。また、残ポイントが次年度に持ち越せない

### 【平成31年度の取組(案)】

- ・休日も開館している施設等に応募箱を設置し、応募しやすくする。
- ・卓上のぼり旗を作成し、協賛事業所に設置し、周知を強化する。
- ・健康づくりに継続して取組めるよう、ポイントの有効期間を通年にする。
- ・より多くの市民がポイント事業に参加できるよう、カードの配布について工夫する。



# ＜健食健歩手帳の活用による自己管理能力の向上＞

## 目的

手帳に血圧や体重等の測定結果や健康状態、健康づくりの取組等を記録し、日々の生活等を振り返り、個々の目標に向けて、健食健歩プロジェクトの運動や食の健康づくり事業も活用する等、自らの健康づくりに取組ながら、健康管理をすすめる。



## 【平成31年度の取組(案)】

### ① 健食健歩プロジェクト手帳の作成・活用

#### 手帳の内容(案)

- ・自己の運動や食等の生活習慣や日々の健康づくりの取り組みを記録する
- ・健診結果や測定結果等、自分の健康状態や気持ち等の記録をする
- ・何に取組んだらよいのかわかりやすく健康づくりスローガンを掲載
- ・定例ノルディックウォーキング会の日程やラジオ体操ステーションマップなど、健康づくり情報を掲載



# <KAGA健食健歩プロジェクト連携推進ミーティング>

## 【平成30年度の主な取組と実績】

### 1. 健康のまちづくりサミットの開催

開催日:平成30年10月20・21日 会場:ホテルアローレ 参加者:全国21自治体 100名

加盟自治体が一同に会し、活動の紹介や、課題の共有など情報交換を行った。  
同じ課題を抱える福井県美浜町が加賀市へ視察に来るなど、新たな交流につながった。

### 2. 健康のまちづくり庁内ワーキングの開催

庁内10課が集まり3回開催。互いの取組を共有し、協働事業を実施。また、連携して事業の周知を行ったことで単課で事業を行うよりも拡がりをもつことができた。

#### ～協働事業紹介～

庁内ワーキングでの情報共有をきっかけに、各団体の強みを活かして連携し、単独で行うよりも拡がりをもせた事例。

#### 「三谷地区ふれあい親子クッキング」

開催日:平成30年6月30日  
参加者:こども13人、保護者11人



#### 「作見地区元気はつらつ塾」

開催日:毎週水曜日  
参加者:約20名



# 【平成31年度の取組(案)】

## ① KAGA健食健歩プロジェクト連携推進ミーティング(仮称)の開催

- (1) 目的: 健康づくり活動に資する団体が一同に会し、さらに効果的に活動を展開するためにネットワークの構築を図る。
- (2) 内容: KAGA健食健歩プロジェクトについて目的の共有  
各団体における健康づくり活動の紹介や課題について共有する。  
互いの強みを活かしてつながり、より効果的に事業を展開する。



# <健康づくりスローガンの普及・啓発>

## 【平成30年度の主な取組と実績】

### 1. ポスターの掲示

配布先:公共施設,医療機関,薬局,保育園,商業施設,郵便局,民間企業 等

配布数:全体版 218枚 運動編 34枚 栄養編 22枚

### 2. 保健推進員や食生活改善推進員と協働による普及啓発活動

#### (1) 各種イベントでの啓発

KAGA健康フェスタ、農業まつり、

健康のまちづくりサミット、女性がん検診会場、地区講座 等

スローガン啓発ティッシュ配布数

保健推進員協議会(全体編) 1300個

食生活改善推進協議会(栄養編)1000個



全体編

## 【平成31年度の取り組み(案)】

### 1. 新たに2テーマのポスターを作成

テーマ1:「喫煙」望まない受動喫煙の防止を図るため健康増進法の一部が改正された。

平成31年度 タバコについて考えるフォーラムの開催(予定)

テーマ2:「歯、口腔の健康」糖尿病協議会と連携した歯周病予防対策の実施

医療機関での歯周疾患検診の実施

⇒ポスターの作成や普及・啓発方法については、保健推進員や食生活改善推進員等と検討する

# 【平成31年度 その他の取組(案)】

## 1. ウォーキングの推進

- (1) 定例ノルディックウォーキング会の継続実施
- (2) まちづくり推進協議会やスポーツ推進員等と連携した  
周知・啓発



## 2. ラジオ体操の推進

- (1) ラジオ体操教室の継続実施 月1回開催
- (2) ラジオ体操教室リーダー養成コース修了生を活用したラジオ体操推進活動



## 3. KAGAタニタ健幸くらぶ

- (1) 魅力ある継続支援メニューの提供 タニタカフェ、歩数競争など

## 4. 食生活改善推進員による野菜摂取推進活動の継続実施

- (1) 野菜の日(8月31日)にあわせた野菜摂取推進活動



# <こころの健康づくり>

## 【平成30年度の主な取組と実績】

### ①「加賀市自殺対策基本計画(仮称)」の策定

- 8月 全庁的に自殺対策関連事業の洗い出しの実施
- 10月～11月 関係機関へのヒアリングの実施  
(医師会、薬剤師会、警察、各種団体、企業、相談関連事業所等)
- 12月 健康福祉審議会、各分科会に素案の提示
- 2月 各分科会に最終案の提示
- 3月(予定) 健康福祉審議会に最終案の提示、答申、パブリックコメントの実施

### ②こころの健康づくり講演会開催

平成30年9月17日 参加者:100名  
講演:「ありがとうの言葉は運命を開く魔法の杖」

### ③かが健幸長寿講座

平成31年3月31日開催予定 「うつ病について」

## 【平成31年度の取組(案)】

### 1. 自殺対策基本計画(仮称)に則って推進

#### ① SOSの出し方に関する教育の実施(中学校)

市内の中学校を対象にSOSの出し方に関する教育を実施する。

#### ② 事業所を対象とした「うつ対策チラシ」の配布

働き盛り世代の自殺対策のため、市内事業所を対象にうつ対策チラシを配布する。

